

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

第6回委員会 開催日：3月28日。出席者：岡田委員長，ほか19名。

1. 材料研究委員会より中間報告「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」

2. 「圧力容器の信頼性」シンポジウム(10/22(月))開催予定内容の報告

3. 試験高炉委員会終了報告

東大生産技研の試験高炉操業を停止することにした旨報告があった。

編集委員会

第1回編集運営委員会 開催日：4月13日。出席者：宮川委員長，ほか17名。

1. 編集委員の委嘱・解嘱が報告され，承認された。

2. 各分科会の報告がなされ，講演大会分科会からは第107回大会について，欧文誌分科会からは掲載記事内規・投稿規程・投稿申込用紙についての報告がなされた。

第2回和文会誌分科会 開催日：4月13日。出席者：宮川主査，ほか29名

1. 25件の論文審査報告がなされ，掲載決定18件，照会后掲載可3件，その他4件であった。

2. 「鉄と鋼」第70年第10号(8月号)に論文10件，技術報告5件，掲載決定した。

第2回欧文会誌分科会 開催日：4月6日。出席者：大森主査，ほか15名。

1. 17件の論文につき審査報告がなされ，掲載可5件，照会后掲載可3件，修正依頼7件，返却2件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，1件の Technical Report と1件の Research Note を勧誘することとなった。

第2回講演大会分科会 開催日：4月20日。出席者：川上幹事，ほか17名

1. 第107回春季講演大会(於：千葉工大)が常非な盛況のもとに無事終了した旨の報告と今大会での運営ならびに進行上の全般的な反省が事務局及び各委員より報告された。

2. 今後の討論会のテーマ及び討論会のあり方について議論された。

共同研究会

第73回特殊鋼部会 開催日：3月22~23日。開催地：日本鉄鋼(株)。出席者：藤原部会長，ほか95名

1. 特別講演「新製造技術を適用した大型ローターの特性について」

日本鉄鋼(株)鍛鋼部長

佐藤和紀

2. 研究発表 共通テーマ「取鋼精錬の操業技術とその冶金効果について」

自由テーマと併せ19件の事例発表

3. 工場見学 日本鉄鋼(株)

コールドストリップ分科会第5回レバースミル見学会

開催日：4月13日。開催地：新日鉄室蘭。出席者：旭岡主査直属幹事，ほか30名

テーマ「レバースミルの定修について」，先に各社よりアンケートをとり，新日鉄・室蘭にてまとめを行った資料により活発に意見を交換した。

又午後からは縦型焼鈍設備，酸洗ライン(ショットを組み込んでいる)，レバース圧延等，特殊材対応設備を見学した。

第68回化学分析分科会 開催日：3月15日。出席者：針間主査，ほか47名。

1. 鉄および鋼の原子吸光分析法 JIS 改訂について

(1) 共同実験結果の確認と評価

(2) 共同実験計画の決定

2. その他

第73回鋼中非金属介在物分析分科会 開催日：3月2日。出席者：成田主査，ほか19名。

1. 鋼中酸化物の抽出分離定量法に関する研究

(1) 第2回共同実験に関する自発検討結果の発表

(2) 第2回共同実験結果のまとめ

(3) 第3回共同実験の進め方

(4) その他

2. その他

(1) 鋼中硫化物抽出分離定量用標準試料の調整について

第86回計測部会 開催日：3月15~16日。開催地：富士電機。出席者：中倉部会長，ほか141名。

1. 議題

(1) 製鉄関係

(2) 製鋼関係

(3) 圧延関係

(4) エネルギー関係

(5) 製品検査関係

(6) 計測技術の改善開発

(7) その他

第37回試験高炉委員会 開催日：2月21日。出席者：石川委員長，ほか14名。

試験高炉の総括報告を行い，当委員会の終了を確認した。

- 第1回鉄鋼標準試料委員会常任委員会** 開催日：3月16日。出席者：川村委員長，ほか13名
1. 標準値の決定
 2. 製造計画および進捗状況確認
 3. 製品の評価
 4. 鉄鋼標準試料委員会発足30周年記念行事計画
 5. JSS硫黄定量用基準試料取扱要領決定
 6. その他

第52回材料研究委員会 開催日：3月26日。出席者：大橋委員長，ほか10名

1. 当委員会調査研究テーマ「鋼材の破壊靱性に対する高純化の影響」の中間報告の検討と各社の研究の進捗状況を確認した。
2. 研究報告
 - (1) 高Mn非磁性鋼の開発と応用（大橋委員長）
 - (2) 鋼材の破壊靱性値におよぼす α/γ 変態回数および高純化の影響（神鋼中研）
 - (3) 3.5% Ni-Cr-Mo-V鋼の破壊靱性におよぼすSの影響（日鋼室蘭）

第14回高級ラインパイプ共同研究委員会 開催日：3月7日。出席者：河野委員長，ほか11名。

1. HICテスト関係
 - (1) Contractの締結
 - (2) HIC分科会報告
2. BT分科会関係
 - (1) BT分科会報告
 - (2) 対外発表について
3. Joint Technical Meeting
 - (1) 報告 幹事会報告
 - (2) 審議
 - (a) J. T. M.への日本側対応および日本側テーマについて
 - (b) 委員会規程の改訂および研究期間の延長について
 - (c) 今後の進め方
4. 会計報告
5. その他

第15回HLP委員会 開催日：4月4日。出席者：河野委員長，ほか9名。

1. AGAとのjoint technical meetingについての出張報告
2. AGAとのjoint technical meetingへの対応について

第31回圧力容器用鋼材専門委員会 開催日：3月26日。出席者：小指委員長，ほか8名。

「溶接継手部の靱性支配要因の解明」（共同研究）の進め方につき最終版をまとめた。

母材の製造が進行中で，年末に試験を完了させる予定。

標準化委員会 ISO鉄鋼部会

第68回SC4分科会 開催日：3月15日。出席者：徳

梅主査，ほか11名。

1. New Work Item 投票の検討
2. ISO Implementation 日本回答の検討
3. DR 683/9（快削鋼）の検討
4. 線材棒鋼の表面きず規定の検討
5. ISO 683/14（ばね鋼）に関する検討

第24回SC7分科会 開催日：3月27日。開催地：飯田橋会館。出席者：手塚主査，ほか15名。

1. 17N2108 日本回答案（ISO 5年見直し）について
2. 7N306 への対応
3. 17N2123 New Work Item への対応
4. 7N301 日本回答案について

第10回SC19分科会 開催日：3月5日。出席者：成瀬主査，ほか5名。

次回SC19/WGI国際会議出席に備えて日本のコメント検討

第37回鋼質判定試験方法分科会 開催日：3月27日。開催地：飯田橋会館。出席者：手塚主査，ほか14名。

1. 昭和59年度JIS改正について
2. JIS G0555（非金属介在物）改正原案について

第6回鉄筋コンクリート用棒鋼JIS改正原案作成分科会 開催日：3月14日。出席者：仲主査，ほか22名。

1. 曲げ戻し試験
2. 機械的性質
3. 標準長さ
4. 化学成分
5. 耐疲労性の解説

鉄鋼協会（圧延理論部会・潤滑小委）・潤滑学会ジョイント・ミーティング 開催日：4月6日。出席者：中川部会長・青木主査，ほか17名。

潤滑学会，将来技術研究会と圧延潤滑を中心議題としてジョイント・ミーティングをもつた。圧延潤滑について解決を要求されている技術，潤滑油の性能評価，摩耗と潤滑，固体潤滑剤の活用，潤滑研究の問題点，将来技術および基礎研究課題などについて討論を行った。

鉄鋼技術情報センター 情報検索委員会

第16回委員会 開催日：3月22日。出席者：梅田委員長，ほか12名。

1. 第15回情報検索委員会議事録（案）の承認
2. 検索用語検討W. G.
 - 語番号順検索用語リストに分類を付けることを各委員へ依頼した。
3. 第2回IR研究会
 - 出席人数，発表形式，資料の提出期限などを決めた。座長は坂本猛委員（大同）に決定。

図書資料委員会

第1回WG3 開催日：4月13日。開催地：住金。出席者：野田チーフ，ほか12名。

1. BISIT Translation 入力処理の検討
2. その他